

## 神の国の宴会

ルカ 13 章 22-30 節

### 13:23 「主よ、救われる者は少ないのでしょうか」と言う人がいた

この問いから始まるきょうのテキストの結論はユダヤ人は退けられ異邦人が救われる、です。マタイの福音では4つの出来事やたとえ(注1)で語られるイエスのことばは、ここでは一つの箇所にとまとめられ、終末に関する教え、戒めとして語られます。救いの問いはこの結論のための導入です。

当時のユダヤ人は救いを個人の問題として捉えるのではなく民族、同朋の問題として考えていました。これはわたしたち現代人にはしばしば欠ける点であり、この救いに関する真剣さ、確信の深さに多いに学ぶ必要があります。きょうのテキストではイエスはまさにこの点を問題として、救いはユダヤ民族の問題ではなくすでに異邦人の問題に移っている預言します。

先生、私は助かるでしょうか。

塩分を控え野菜中心の食事を取り、週に3回は1時間ていどの運動をなさいます。そうしないと生命の保証はできませんよ。野菜中心の食生活や週に3回の運動、自分の努力や心掛けで健康を回復したり維持することはできるかもしれませんが、それで魂が救われるわけではありません。長生きできる可能性があるというだけです。

現実的な面(シャバ)から事柄を見ることと、永遠の面(ウキヨ)から事柄を見ることにはおおきな違いがあるはずですよ。

タバコは健康に悪い、癌になる、高血圧の症状を悪化させる、だからタバコは悪い、止めなければならない。これは現実の面から見た見解です。だけど休憩時の一服、食後の一服、タバコは人生の楽しみ、大いなる娯楽でもあります。おおげさな言い方をすれば、これは永遠の側からの喫煙に関する一つ

の見解です。

一流の企業や大学に入るとは難しい、狭き門にたとえられます。ではその狭き門に入るためにはどうすればよいのか、資質もさることながら自分が努力して他人とは出来が違うことを証明すればよいということになります。むずかしいことですが具体的には試験にパスすればよいわけです。

**13:24 「狭い戸口から入るように努めなさい。言うておくが、入ろうとしても入れない人が多いのだ。」**

これはどのような意味でしょう。一流の企業や大学に入るように努力しろ、そうすれば一握りの人になれる、という意味でしょうか。神の国に入るむずかしさは、そのような性質のむずかしさではありません。その点から言えば、神の国に入るのは大変やさしいのです。いかなる能力も資格も必要ではありません。だれでも入れます。ところが、まさにこの点が人間にとって最もむずかしい点なのです。自分が持っている能力、知識、教養、立派な人格や善行、このようなもの一切が神の国に入るのに全く無意味であると認めることは、立派な人、出来る人ほどむずかしいのです。どんな人も自分なりの立派さを主張したい。その意味で人はみな、持てる者、金持ちなのです。自分が持っているものを徹底的に否定し、自分を無とし、ひたすら神の恩恵にすがって、神からのものをいただいて生きようとするのは、人間の本性にとって一番むずかしいこと、いや不可能なことなのです。そこに人間の本性的な罪があります。

自分の価値を粉砕し、自分を無にすることは、生きている人間にはできません。この人にはできないことを、神が為し遂げて、永遠の生命にいたる道を開いてくださったのです。これが福音です。

**13:29 そして人々は、東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。**

-----

注1) 表現上の平行箇所はいずれもマタイ福音書から。

・7:13 「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。7:14 しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

・25:10 愚かなおとめたちが買いに行っている間に、花婿が到着して、用意のできている五人は、花婿と一緒に婚宴の席に入り、戸が閉められた。25:11 その後で、ほかのおとめたちも来て、『御主人様、御主人様、開けてください』と言った。25:12 しかし主人は、『はっきり言うておく。わたしはお前たちを知らない』と答えた。

・7:22 かの日には、大勢の者がわたしに、『主よ、主よ、わたしたちは御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をいろいろ行ったではありませんか』と言うであろう。7:23 そのとき、わたしはきっぱりとこう言おう。『あなたたちのことは全然知らない。不法を働く者ども、わたしから離れ去れ。』」

・8:9 わたしも権威の下にある者ですが、わたしの下には兵隊がおり、一人に『行け』と言えば行きますし、他の一人に『来い』と言えば来ます。また、部下に『これをしろ』と言えば、そのとおりにします。」8:10 イエスはこれを聞いて感心し、従っていた人々に言われた。「はっきり言うておく。イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。8:11 言うておくが、いつか、東や西から大勢の人が来て、天の国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席に着く。8:12 だが、御国の子らは、外の暗闇に追い出される。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。」